

瀬戸内町告示第 29 号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、平成26年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成26年11月1日

瀬戸内町長 房 克臣

平成26年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	1
1 平成25年度 決算のあらまし	2
(1) 概要	2
(2) 各会計実質収支の状況	2
(3) 一般会計歳入の状況	8
(4) 一般会計歳出の状況	10
(5) 町債の状況	12
2 平成26年度 上半期財政運営のあらまし	13
(1) 予算の規模	13
(2) 予算の執行状況	15
3 町有財産の状況	17

I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様には町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成25年度決算及び平成26年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況は、平成25年度決算において、一般会計は普通建設事業費の増大などにより決算総額が増加しました。また、歳入において前年度に比べ、依存財源の占める割合が増加しました。特別会計は全会計で黒字化を達成するなど、連結赤字の解消においては一定の成果をあげましたが、その内容は一般会計からの多額に上る赤字補てん繰出金による改善です。依然、独立採算の原則に基づく各会計の自立が課題となっています。

このような財政状況の中、本町としましては国や県の動向に注視しながら、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らせる町づくりを目指し、産業の振興・交通手段や生活環境の整備・高齢者等の福祉医療の確保・教育文化の振興対策を鋭意進めてきました。

平成26年度上半期の財政状況については、財政基盤が脆弱な中であって、財政指標の健全化、財政基盤の強化により持続可能な町づくりを実現するため、自主財源の割合の増加、地方債発行と返済のバランス、予想できない大規模自然災害に対応するために財政調整基金等の確保に努めてきました。

平成26年度下半期の予算配分や新年度予算は、長期振興計画（後期基本計画H26～H30）において文化ホール建設をはじめとする大型建設事業が計画されており今後膨大な費用が必要になると見込まれる中、地方債の発行額が返済額を上回り再び借金体質の財政運営になるのではとの懸念もありますが、長期的視野で計画的に資産再構築に取り組み、財政の悪化を回避するよう努力してまいります。

奄美・琉球の世界自然遺産登録に向けた取り組みをはじめ、環境問題や自然災害への対応、少子高齢化による地域コミュニティの振興対策など多くの行政課題に取り組む中で、今後もさらに町民とともに地理的・歴史的独自性を発揮した魅力ある町づくりを実現するために今何をすべきかを長期的な視点から捉え、限られた財源で最大限の効果をあげていきたいと考えています。

1 平成25年度決算のあらまし

(1) 概要

平成25年度決算は、昨年度に引き続き、災害復旧費の増大などにより前年度に比べ増額となっています。

一般会計と各特別会計の総決算収支(公営企業の水道事業を除く)において、歳入総額14,689,263千円に対し、歳出総額13,920,942千円で、差し引き768,321千円の黒字となりました。また、翌年度へ繰り越すべき財源27,650千円を差し引いた実質収支額も740,671千円となり、対前年度比でも388,889千円の増額となっています。

(2) 各会計実質収支の状況

1). 一般会計

平成25年度一般会計歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 10,631,713 千円に対し、歳入10,500,425千円、歳出 9,835,223 千円となり、前年度に比べ歳入で 422,300 千円、4.2%の増、歳出で205,855 千円、2.1%の増となりました。

決算収支は、歳入歳出差し引き 665,202 千円の黒字で、翌年度へ繰り越すべき財源 27,650 千円を差し引いた実質収支も 637,552 千円の黒字となっています。また、実質収支額から平成24年度の実質収支額380,496千円を差し引いた平成25年度の単年度収支額は257,056千円の黒字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金301,504千円を加え、財政調整基金の取崩額42,309千円を差し引いた、実質単年度収支額も516,251千円の黒字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計						
項目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年 度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
25年度	10,500,425	9,835,223	665,202	27,650	637,552	257,056
24年度	10,078,125	9,629,368	448,757	68,261	380,496	△ 157,979
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
25年度	301,504	0	42,309		516,251	
24年度	372,037	0	287,238		△ 73,180	

2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 267,123千円に対し、歳入274,922千円、歳出 256,315千円、差し引き 18,607千円の黒字となっています。

単年度収支についても 14,093千円の黒字となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計						
項目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年 度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
25年度	274,922	256,315	18,607	0	18,607	14,093
24年度	305,135	300,621	4,514	0	4,514	28,613
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
25年度	0	0	0		14,093	
24年度	0	0	0		28,613	

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,736,728 千円に対し、歳入 1,697,042 千円、歳出 1,686,704 千円、差し引き 10,338 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。

なお、単年度収支についても 115,664 千円の黒字となっており主な要因は、赤字解消10カ年計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

次に、国民健康保険直営診療勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 17,654 千円に対し、歳入 20,771 千円、歳出 16,637 千円で、差し引き 4,134 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。なお、単年度収支についても 487 千円の黒字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
25年度	1,697,042	1,686,704	10,338	0	10,338	115,664
24年度	1,802,697	1,908,023	△ 105,326	0	△ 105,326	167,845
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
25年度	0	0		0	115,664	
24年度	0	0		0	167,845	

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
25年度	20,771	16,637	4,134	0	4,134	487
24年度	20,863	17,216	3,647	0	3,647	△ 1,808
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
25年度	0	0		0	487	
24年度	0	0		0	△ 1,808	

4). 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年度から設置された後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 114,282 千円に対し、歳入 111,282 千円、歳出 109,678 千円、差し引き 1,604 千円の黒字となっています。単年度収支については 328 千円の赤字となっています。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B C		C-D	E	
25年度	111,282	109,678	1,604	0	1,604		△ 328
24年度	112,345	110,413	1,932	0	1,932		624
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
25年度	0	0	0		△ 328		
24年度	0	0	0		624		

5). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,540,769 千円に対し、歳入 1,543,907 千円、歳出 1,503,757 千円、差し引き 40,150 千円の黒字となっています。黒字の主な要因は国・県支出金、一般会計繰入金の増によるものです。

なお、単年度収支については 4,062 千円の赤字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B C		C-D	E	
25年度	1,543,907	1,503,757	40,150	0	40,150		△ 4,062
24年度	1,489,086	1,444,874	44,212	0	44,212		12,658
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
25年度	0	0	0		△ 4,062		
24年度	0	0	0		12,658		

6). 屠畜場事業特別会計

と畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,432 千円に対し、歳入・歳出同額の 2,060 千円となっています。歳出の主なものは、総務管理費の賃金や営業費の中の需用費等(電気料・水道料・修繕費・燃料費)です。

(単位：千円)

屠畜場事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
25年度	2,060	2,060	0	0	0	0	0
24年度	2,354	2,354	0	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
25年度	0	0	0		0		
24年度	0	0	0		0		

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 276,966 千円に対し、歳入 279,010 千円、歳出 267,152 千円、差し引き 11,858 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支でも同額の黒字となっています。

なお、単年度収支についても 966 千円の黒字となっており、主な要因は、フェリーボート収入の増、前年度繰上充用金の減のほか、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

歳出の主なものは、総務管理費として 22,838 千円、せとなみ費として 96,235 千円、フェリーボート費として 122,508 千円、公債費として 25,208 千円となっています。歳入では、せとなみ・フェリーボート運航収入として 139,295 千円、国・県補助金として 98,287 千円、その他一般会計からの繰入金や収入等 41,428 千円となっています。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
25年度	279,010	267,152	11,858	0	0	11,858	966
24年度	322,342	311,450	10,892	0	0	10,892	66,143
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
25年度	0	0	0		966		
24年度	0	0	0		66,143		

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 3,527 千円に対し、歳入 3,524 千円、歳出 2,434 千円、差し引き 1,090千円の黒字となっています。黒字の主な要因は、上屋使用料、諸収入及び繰越金によるものです。なお、単年度収支については485千円の赤字となっています。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
25年度	3,524	2,434	1,090		0	1,090		△ 485
24年度	4,015	2,440	1,575		0	1,575		△ 491
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
25年度	0	0			0	△ 485		
24年度	0	0			0	△ 491		

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 27,122 千円に対し、歳入 27,342 千円、歳出 25,337 千円で、差し引き 2,005 千円の黒字となっています。翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。主な要因は、繰越金の増、公債費の減のほか、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
25年度	27,342	25,337	2,005		0	2,005		△ 711
24年度	29,363	26,647	2,716		0	2,716		1,489
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
25年度	0	0			0	△ 711		
24年度	0	0			0	1,489		

10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 228,086 千円に対し、歳入 228,978 千円、歳出 215,645 千円となり、差し引き 13,333 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支でも同額の黒字となっています。なお、単年度収支についても6,209 千円の黒字となっており、主な要因は経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C	D	C-D	E
25年度	228,978	215,645	13,333		0	13,333	6,209
24年度	256,641	249,517	7,124		0	7,124	934
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
25年度	0	0			0	6,209	
24年度	0	0			0	934	

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額 166,864 千円に対し決算額 159,795千円、支出予算額 166,655 千円に対し決算額 159,456 千円となり、差し引き 339 千円の当年度純利益が生じていますが、損益計算書での当年度純利益 347 千円との差額 8 千円は、消費税相当分です。

一方、資本的収支においては、収入予算額 2 千円に対し決算額 0 千円、支出については、予算額 41,318 千円に対し決算額 31,317 千円となり、差し引き 31,317 千円の収入不足となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、過年度分損益勘定留保資金 20,821 千円、当年度分損益勘定留保資金 10,496 千円を充当して補填しています。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
25年度	159,795	159,456	339	0	31,317	△ 31,317
24年度	164,417	151,986	12,431	25,739	66,217	△ 40,478

(3) 一般会計歳入の状況

平成25年度一般会計の歳入決算額は 10,500,425千円で前年度に比べ4.2%の増となっている。

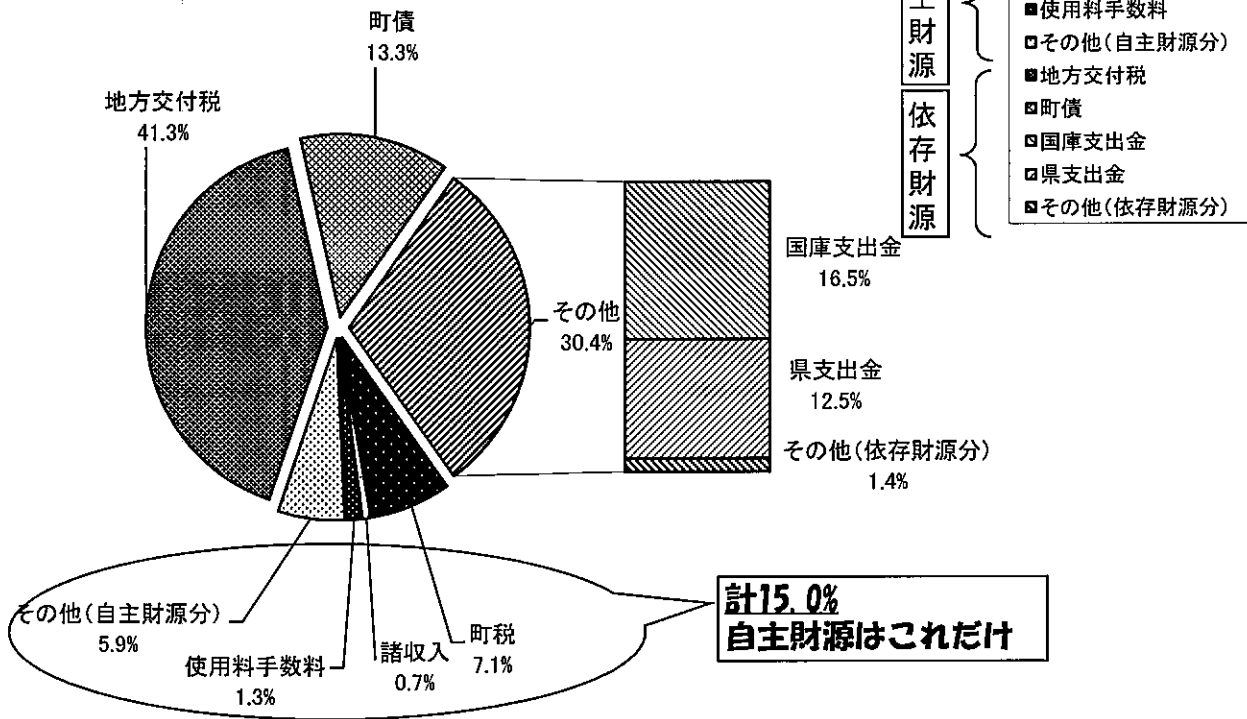
また、歳入を財源別にみると、自主財源(町税、使用料及び手数料、繰入金等)が 1,580,748 千円で15.0%、依存財源(地方交付税、国庫支出金、町債等)が 8,919,677 千円で85.0%となっており、自主財源が前年度に比べ20.4%の減、依存財源が前年度に比べ4.7%の増となっており、依存財源のしめる割合が増加している。

(歳入決算目的別内訳)

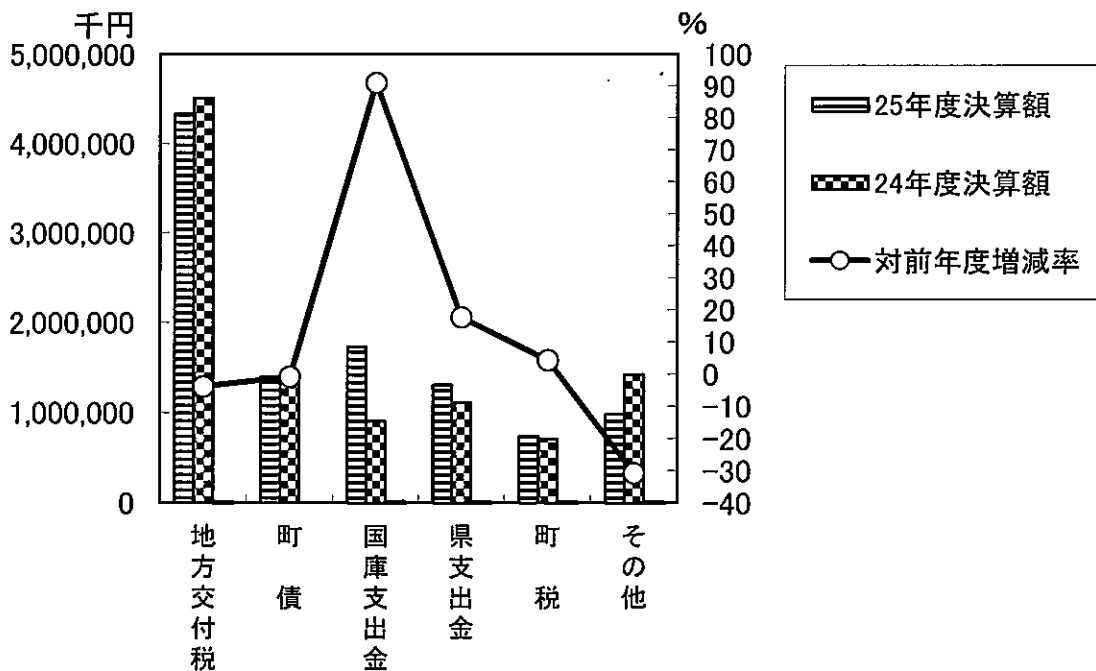
(単位:千円, %)

歳入区分	平成25年度		平成24年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	743,974	7.1	713,360	7.1	30,614	4.3
2 地 方 譲 与 税	55,591	0.5	58,495	0.6	△ 2,904	△ 5.0
3 利 子 割 交 付 金	1,296	0.0	1,180	0.0	116	9.8
4 配 当 割 交 付 金	885	0.0	704	0.0	181	25.7
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,498	0.0	163	0.0	1,335	819.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	79,426	0.8	80,109	0.8	△ 683	△ 0.9
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	8,517	0.1	9,469	0.1	△ 952	△ 10.1
8 地 方 特 例 交 付 金	1,021	0.0	1,105	0.0	△ 84	△ 7.6
9 地 方 交 付 税	4,331,600	41.3	4,508,955	44.7	△ 177,355	△ 3.9
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,556	0.0	1,696	0.0	△ 140	△ 8.3
11 分 担 金 及 び 負 担 金	44,319	0.4	45,985	0.5	△ 1,666	△ 3.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	137,757	1.3	136,224	1.4	1,533	1.1
13 国 庫 支 出 金	1,729,381	16.5	905,287	9.0	824,094	91.0
14 県 支 出 金	1,310,066	12.5	1,113,684	11.1	196,382	17.6
15 財 産 収 入	45,030	0.4	44,906	0.4	124	0.3
16 寄 付 金	11,928	0.1	22,601	0.2	△ 10,673	△ 47.2
17 繰 入 金	68,589	0.7	317,873	3.2	△ 249,284	△ 78.4
18 繰 越 金	448,757	4.3	568,987	5.6	△ 120,230	△ 21.1
19 諸 収 入	80,394	0.7	136,215	1.4	△ 55,821	△ 41.0
20 町 債	1,398,840	13.3	1,411,127	14.0	△ 12,287	△ 0.9
歳 入 合 計	10,500,425	100.0	10,078,125	100.1	422,300	4.2

自主財源と依存財源の状況



平成25年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

平成25年度一般会計の歳出決算額は9,835,223千円で前年度に比べ2.1%増となっている。

また、歳出額を性質別にみると義務的経費(人件費、扶助費、公債費等)が3,390,144千円で34.5%、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費等)が3,272,556千円で33.3%、その他(物件費、補助費、維持補修費、繰出金等)が3,172,523千円で32.3%となっており、それぞれ前年度に比べ2.9%減、13.2%増、2.3%減となっている。

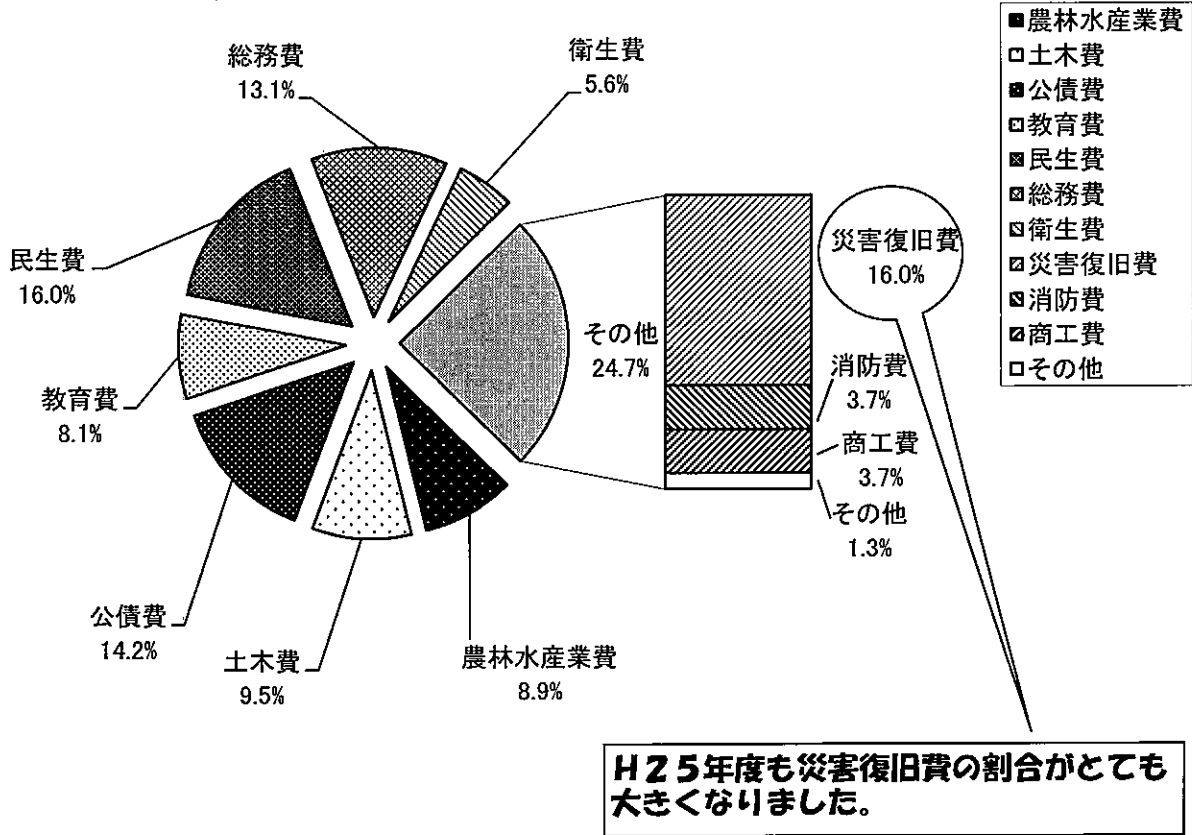
また、目的別の歳出額については下表のとおりとなっている。

(歳出決算目的別内訳)

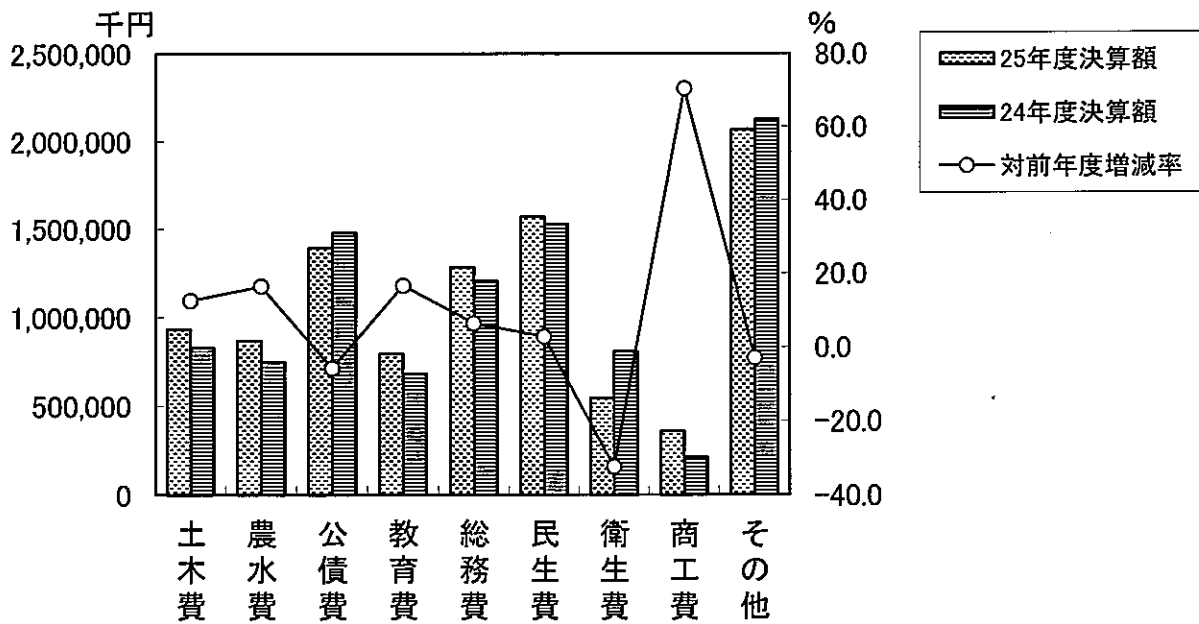
(単位:千円, %)

歳出区分	平成25年度		平成24年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	93,796	1.0	94,852	1.0	△ 1,056	△ 1.1
2 総務費	1,286,109	13.1	1,208,319	12.5	77,790	6.4
3 民生費	1,572,730	16.0	1,528,902	15.9	43,828	2.9
4 衛生費	546,757	5.6	808,733	8.5	△ 261,976	△ 32.4
5 労働費	8,745	0.1	8,513	0.1	232	2.7
6 農林水産業費	870,521	8.9	747,307	7.9	123,214	16.5
7 商工費	361,634	3.7	212,153	2.2	149,481	70.5
8 土木費	935,564	9.5	830,550	8.6	105,014	12.6
9 消防費	365,270	3.7	336,613	3.5	28,657	8.5
10 教育費	797,894	8.1	683,824	7.1	114,070	16.7
11 災害復旧費	1,569,506	16.0	1,615,457	16.8	△ 45,951	△ 2.8
12 公債費	1,396,556	14.2	1,481,535	15.4	△ 84,979	△ 5.7
13 諸支出金	30,141	0.2	72,610	0.8	△ 42,469	△ 58.5
14 予備費						
歳出合計	9,835,223	100.1	9,629,368	100.3	205,855	2.1

平成25年度一般会計目的別経費の状況



平成25年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

町債は、道路や港湾施設等、住民が長期にわたって恩恵を受ける施設等の建設財源として、町が借り入れる長期借入金であるが、その借り入れ、償還の状況は次の通りとなっている。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会計別	平成24年度末現在高 A	平成25年度発行額 B	平成25年度償還額 C	平成25年度末現在高 A+B-C
(一般会計)	11,032,814	1,398,840	1,263,826	11,167,828
(特別会計)	1,302,690	85,200	78,329	1,309,561
巡回診療	119,415	32,400	5,431	146,384
国保直診	174	0	174	0
船舶	53,707	0	25,153	28,554
上屋	27,324	0	1,374	25,950
農業集落排水	147,374	0	11,288	136,086
簡易水道	954,696	52,800	34,909	972,587
合計	12,335,504	1,484,040	1,342,155	12,477,389

上水道	760,869	0	31,317	729,552
-----	---------	---	--------	---------

2 平成26年度上半期財政運営のあらまし

平成26年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

(1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成26年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	7,203,237	1,392,124	8,595,361	67.0
(特別会計)	4,173,807	55,720	4,229,527	33.0
巡回診療	304,034	△ 29,328	274,706	2.1
国保事業	1,620,838	△ 607	1,620,231	12.6
国保直診	17,364	32	17,396	0.1
後期高齢	117,160	4,415	121,575	0.9
介護保険	1,529,189	41,454	1,570,643	12.2
屠畜場	2,283	150	2,433	0.0
船舶	267,884	21,478	289,362	2.3
上屋	4,869	142	5,011	0.0
農業集落排水	18,656	2,005	20,661	0.2
簡易水道	291,530	15,979	307,509	2.4
合計	11,377,044	1,447,844	12,824,888	100.0

上水道事業	平成26年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	177,935	300	178,235
収益的支出	202,182	9,214	211,396
資本的収入	2	20,000	20,002
資本的支出	49,799	18,347	68,146

一般会計予算款別補正状況
(歳入)

(単位:千円、%)

会計別	平成26年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	728,635		728,635	8.5
地 方 譲 与 税	56,458		56,458	0.7
利 子 割 交 付 金	1,180		1,180	0.0
配 当 割 交 付 金	704		704	0.0
株式等譲渡所得割交付金	163		163	0.0
地方消費税交付金	80,109		80,109	0.9
自動車取得税交付金	9,469		9,469	0.1
地方特例交付金	1,021		1,021	0.0
地 方 交 付 税	3,887,568	△ 5,831	3,881,737	45.2
交通安全対策特別交付金	1,950		1,950	0.0
分担金及び負担金	19,697	2,428	22,125	0.3
使用料及び手数料	152,510	4,920	157,430	1.8
国 庫 支 出 金	693,777	391,481	1,085,258	12.6
県 支 出 金	500,508	194,943	695,451	8.1
財 産 収 入	38,819	3,681	42,500	0.5
寄 付 金	3	3,315	3,318	0.0
繰 入 金	99,755	47,811	147,566	1.7
繰 越 金	1	637,551	637,552	7.4
諸 収 入	56,776	15,125	71,901	0.8
町 債	874,134	96,700	970,834	11.3
合 計	7,203,237	1,392,124	8,595,361	100.0

(歳出)

(単位:千円、%)

会計別	平成26年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	91,453		91,453	1.1
総 務 費	688,141	617,499	1,305,640	15.2
民 生 費	1,364,560	124,636	1,489,196	17.3
衛 生 費	487,301	39,919	527,220	6.1
労 働 費	8,822	△ 756	8,066	0.1
農 林 水 産 業 費	650,981	145,857	796,838	9.3
商 工 費	331,848	53,694	385,542	4.5
土 木 費	913,177	4,061	917,238	10.7
消 防 費	371,990	33,459	405,449	4.7
教 育 費	720,736	54,067	774,803	9.0
災 害 復 旧 費	217,984	319,688	537,672	6.3
公 債 費	1,318,100		1,318,100	15.3
諸 支 出 金	18,144		18,144	0.2
予 備 費	20,000		20,000	0.2
合 計	7,203,237	1,392,124	8,595,361	100.0

(2) 予算の執行状況

平成26年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (平成26年9月30日現在) (単位:千円、%)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	8,595,361	4,459,129	51.9	8,595,361	2,727,545	31.7
(特別会計)	4,229,527	1,430,719	33.8	4,229,527	1,658,453	39.2
巡回診療	274,706	107,870	39.3	274,706	119,000	43.3
国保事業	1,620,231	521,414	32.2	1,620,231	702,787	43.4
国保直診	17,396	7,357	42.3	17,396	5,495	31.6
後期高齢	121,575	26,821	22.1	121,575	25,635	21.1
介護保険	1,570,643	646,004	41.1	1,570,643	613,514	39.1
屠畜場	2,433	279	11.5	2,433	1,572	64.6
船舶	289,362	73,442	25.4	289,362	115,573	39.9
上屋	5,011	1,346	26.9	5,011	1,471	29.4
農業集落排水	20,661	5,051	24.4	20,661	9,604	46.5
簡易水道	307,509	41,135	13.4	307,509	63,802	20.7
合計	12,824,888	5,889,848	45.9	12,824,888	4,385,998	34.2

(単位:千円、%)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	178,235	71,298	40.0	211,396	42,053	19.9
資本的収支	20,002	0	0.0	68,146	16,527	24.3

平成26年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	728,635	405,855	55.7
地 方 譲 与 税	56,458	15,027	26.6
利 子 割 交 付 金	1,180	538	45.6
配 当 割 交 付 金	704	1,021	145.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	163	0	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	80,109	53,614	66.9
自 動 車 取 得 税 交 付 金	9,469	1,215	12.8
地 方 特 例 交 付 金	1,021	858	84.0
地 方 交 付 税	3,881,737	2,891,244	74.5
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,950	684	35.1
分 担 金 及 び 負 担 金	22,125	5,558	25.1
使 用 料 及 び 手 数 料	157,430	64,232	40.8
国 庫 支 出 金	1,085,258	183,512	16.9
県 支 出 金	695,451	40,434	5.8
財 産 収 入	42,500	15,527	36.5
寄 付 金	3,318	13,562	408.7
繰 入 金	147,566	111,890	75.8
繰 越 金	637,552	637,552	100.0
諸 収 入	71,901	16,806	23.4
町 債	970,834	0	0.0
歳 入 合 計	8,595,361	4,459,129	51.9

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	91,453	48,448	53.0
総 務 費	1,305,640	366,872	28.1
民 生 費	1,489,196	457,366	30.7
衛 生 費	527,220	176,611	33.5
労 働 費	8,066	3,806	47.2
農 林 水 産 業 費	796,838	205,640	25.8
商 工 費	385,542	106,168	27.5
土 木 費	917,238	193,476	21.1
消 防 費	405,449	164,764	40.6
教 育 費	774,803	304,957	39.4
災 害 復 旧 費	537,672	33,675	6.3
公 債 費	1,318,100	665,762	50.5
諸 支 出 金	18,144	0	0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	8,595,361	2,727,545	31.7

3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

【一般会計】

i) 公有財産

(1) 行政財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	275.94	0.00
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	176,294.93	30,304.08
計		486,518.39	115,277.05

(2) 普通財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

建 物		2,310.60
土 地	宅 地	58,637.21
	田	3,480.00
	畑	11,752.19
	原 野	4,491,143.83
	山 林	6,851,247.00
	雑種地	81,700.96
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		12,333,672.44

林 野	12,096,973.58
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	12,440

③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	323,786

ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	6
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	13
小 型 貨 物	10
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	18
特 殊 用 途 車	12
大 型 特 殊 車	16
軽 (四 輪 貨 物)	29
軽 (四 輪 乗 用)	17
船 舶	3
原 付	3
合 計	132

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 703,522
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 280,000
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 726
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,999
	債 権 20,408
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 22,239
	物 品 36,767
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 105,812
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 4
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 19,061
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 34,701
	債 権 9,040
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 22,616
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 20,914
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 5,012
	物 品 4,993
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 3,000
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 1,093
計	1,342,228

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位:m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(279.00ト)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位:m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	4台
	レントゲン	2台
計	6台	

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	4,780
計	5,002